

安心は
北陸ミートから!

北陸ミート株式会社
場/富山市金屋 2718番13
(076)443-7272(代)

富山

◆台湾の女性教授
2013年秋。日本尊
厳死協会(東京)で、台
湾の事情を語る女性がい
た。「終末期医療の問題
は解決しました」。女性
の名は台湾国立成功大学
の趙可式教授。終末期患
者の選択権を確立するた
めに、20年間奔走した人
物だ。

看護学を教える女性教
授が国際の終末期医療の在
り方を動かした。同席し
た医師の長尾和宏さん
(55)「同会副理事長」は
体験談を聞いて、驚いた。

台湾の終末期医療

◆法律の内容は
台湾の医療事情に詳し
い千葉大の錢淑君・准教
授によると、同条例では
患者の意思を尊重。2人
持療法を中止することができ
る」とした。また、いう。

患者の意思、選択権確立

した患者が、事前に委任
された代理人が「意思表
明書」で希望すれば「心
地で本人の意思が確認で
きない場合は、代わりに
親族の同意書でも有効と
する」などと記載している。
趙教授はこの映画を議員らに

趙教授の言う「解決」とは、ある法律を指す。台湾では00年、終末期の在り方に関する「安寧緩和医療条例」が成立。昨年、それが大きく改正されたのだ。

ビ。ボクラテス
を超えて



>8<



台湾の終末期医療を動かした趙可式教授
—日本尊厳死協会提供

◆説得の力は「大病
院の映画「大病人」(1
素材の一つが伊丹十三監
督の映画「大病人」(1

趙教授が説得に使った
かについて、意識不明な
方を法律で定めた国があ
る。欧米とアジアの間に
は大きな価値観の違いが
あるものの、台湾にも同
様の法律がある。その事
実に終末期医療の著書を
多数出版している長尾さ
んも驚く。同じアジア、
しかも隣にある台湾で
(法制化が)起こった。

これらは患者の意思を
尊重しようという観点に
立っているため、違反し
た医師には罰則まであ
る。趙教授はこの仕組み
が必要だと台湾の立法院
(国会)議員らに訴えて
回ったのだ。

「どうして日本は良い
映画を持っているのに使
わないのか」。趙教授は
腹に「この人のどこにこ
んな闘志があったんだろ
う」と長尾さんは思った。

見せて、終末期医療の実
態を伝えたのだ。

993年)。主役の三国
連太郎さんががん患者役
を熱演し、管につながれ
た末期のがん患者の様子
などを描いている。趙教
授はこの映画を議員らに
思ふ

—つづく